

《夏号》

2021. 7. 15

あゆみ

Vol. 76

<発行>

社会福祉法人大阪府肢体不自由者協会
 大阪府肢体不自由児者父母の会連合会
 〒540-0006
 大阪市中央区法円坂一丁目1番35号
 アネックスバル法円坂内
 TEL 06 (6940) 4181 FAX 06 (6943) 4661
 E-mail: info@daishikyoo.or.jp
 ホームページ: http://www.daishikyoo.or.jp

ごあいさつ



社会福祉法人大阪府肢体不自由者協会
 理事長 野間田 徹

去る6月18日に開催された理事会において、新理事長に就任しました野間田徹です。

私は、1984年(昭和59年)に、交野自立センターに縫製科の指導員として配属されて、2006年(平成18年)に、交野自立センターが大阪府の委託から法人に移管された時の最初の所長となりました。その後8年間所長を務め、法人本部に異動して7年。通算37年間大肢協で勤務してきました。

大肢協は、昭和30年に設立され、法人格を取得してからも、半世紀以上にわたり肢体不自由児者とその家族の願いを受けて活動してきた歴史ある法人です。その理事長を任されるということは、大変名誉なことであると同時に、大変な重責を負うことになることと身が引き締まる思いです。

2021年度の事業計画では、「利用者や職員スタッフの笑顔で溢れる職場」を目指すべき旗印として掲げました。このビジョンは、2025年に向けた中期的なものであり、そこには、次のような大切にすべき価値が込められています。

- 利用者は、尊重され、その可能性を伸ばすことができる。
- 職員は、学ぶ意欲に溢れ、生き生きと働ける。
- 法人は、社会の課題解決に貢献する。

今は、新型コロナウイルスの感染拡大により、窮屈な日常生活が続いています。また、将来の見通しが立てにくい社会状況が広がっています。一日も早く、新型コロナウイルスの拡大が収束し、職場に利用者や職員スタッフの笑顔がもどる日が来ることを願っています。

まだまだ新米理事長ですが、道井前理事長の実績をしっかり継承し、さらに発展させていけるよう、しっかり学び、利用者・家族、職員スタッフの笑顔を守るよう、全力を尽くしたいと考えています。

どうぞ、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



大阪府肢体不自由児者父母の会連合会
 会長 松並 利行

大肢連総会が4月開催予定でしたが、緊急事態宣言発令中のため中止とし、書面決議となりました。すべての議案が承認され、役員改選についても令和3年度より下記の新役員メンバーで活動していくことになりました。

重任がほとんどですが、新しいメンバーにも就任いただき、新たな気持ちでやっていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

一昨年より新型コロナウイルス感染症が広がり、令和2年度は十分な事業活動が出来ませんでした。第55回近畿肢体不自由児者福祉大会大阪大会は今年度に延期されましたが、コロナ感染が収束に至らず残念ではありますが、今年度も中止となり、大会開催に代わり冊子を残すこととなり、現在作成中です。

コロナ禍のなか、東京オリンピックも開催の方向で準備が進められていますが、何よりワクチン接種が、スムーズにいかないことには不安でなりません。

ワクチンが行き届き、コロナの収束が一日も早く訪れることを心より願います。

皆様方におかれましてはコロナに負けず強い気持ちを持ち、安心安全に毎日の生活を送っていただきたいと思っております。

今後とも引き続き当会にご支援、ご協力を宜しく申し上げます。

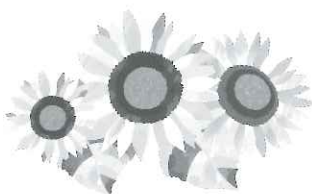
【新役員紹介】 よろしくお願いたします！

大肢協新役員

理事長・事務局長	野間田 徹
理事・事務局長次長	高瀬 修一
理事	田中 進
〃	松並 利行
〃	八尾 康典
〃	大東 春樹
〃	稲原 珠実
監事	馬上 保男
〃	徳田 町子

大肢連新役員

会長	松並 利行 (八尾市)
副会長	藤木 連明 (吹田市)
副会長	徳田 町子 (松原市)
副会長	南 朋子 (和泉市)
事務局長	橋本 佳子 (八尾市)
阪南ブロック長兼事務局長次長	藤井 かをり (和泉市)
北摂ブロック長	竹内 久美子 (池田市)
中河内ブロック長	木本 敏行 (八尾市)
北河内ブロック長	大村 和子 (寝屋川市) (新任)
南河内ブロック長	林 恵子 (藤井寺市)
大阪市ブロック長	衣笠 明美 (淀川区) (新任)
堺市ブロック長	玉木 実千代 (堺市)
事務局	三好 久恵 (堺市)
会計監査	有住 清美 (和泉市)
〃	五十嵐 典子 (箕面市) (新任)



近肢連リモート講演会報告

「新型コロナウイルス感染症とワクチンについて」～私たちが知りたいこと～

6月29日(火)、午前11時よりリモートにて講演会が開催されました。

講師に医学博士・滋賀県障害児者と父母の会連合会 植松潤治代表を迎え、近畿二府四県の肢体不自由児者父母の会会員など約70名が視聴しました。

新型コロナウイルス感染症は統計的に見ても、感染率・致死率がインフルエンザよりも遥かに高いことがわかっています。感染経路も空気感染・飛沫感染・接触感染とさまざまな経路から感染をしますので、その予防には、マスク、手洗い、接触した箇所の消毒や密を避けて1～2mの距離を置いての会話等を徹底することを言われていますが、最近の感染力が強い新型株には、マイクロ飛沫による空気感染を避けるため、換気をよくして絶えず空気が流れている環境をつくることも大切だそうです。

デマのおかげでワクチン接種自体を怖がっている方もいるようですが、新型コロナの遺伝子材料(mRNA)は人の遺伝子には組み込まれることはなく、体内で分解されるとのこと。感染や、ワクチン接種などで抗体ができた方が人口の7割程度になると、集団免疫ができてワクチン接種できない方を守ることができるので、ワクチンを打つことができる方は積極的に接種をしてほしいとのことでした。

では、ワクチン接種ができない方とはというと、1回目の接種の後、アナフィラキシーショックが出た方は2回目ができませんし、mRNAワクチンの成分(PEGを含む)に対して即時型のアレルギーがある方、ポリソルベートに対して即時型のアレルギーがある方です。

それ以外、花粉症や喘息・アトピー・アレルギー性鼻炎、呼吸障害、その他基礎疾患のある方、重度の障害のある方、妊娠中、授乳中の方等とほとんどの方が接種可能ということですよ。

副反応については、接種部の痛みや倦怠感、発熱等があります

が、一日程度でなくなるようです。4日以上続くようなら受診した方が良いでしょう。重度障害者は基礎体力が低いいため、副反応が出やすいかもしれませんが、ワクチン効果は十分あるので、新型コロナにかかった時の重篤化を考えると接種することを勧められました。

事前に沢山の質問があり、一つ一つに答えていただきました。

その中の一つ「障害児者が新型コロナにかかった時、付き添いはどうしたらよいか?」に、「家族が感染予防対策をしながら、個室で付き添う(感染のリスクがあるが、ワクチン接種によりリスクは下がる)。親が付き添えない時、施設内療養が施設の職員が付き添う。複数の施設でネットワークを組んで職員を派遣する。」という手立てもあるとのこと。

今、一番知りたいことがよくわかりたいへん意義のある講演会でした。

ワクチン接種が進み、沢山の皆さまに抗体ができ、安心して色々な活動ができる時が早く来てほしいです。また、治療薬の開発も待ち遠しいです。

大肢連事務局長 橋本 佳子

★★★ 植松潤治氏プロフィール ★★★

平成元年滋賀医科大学卒業、平成8年同大学院卒業
日本小児科学会専門医、日本小児神経学会専門医
日本リハビリテーション医学会認定臨床医
湖北グリーンクリニック、かいつぶり診療所総院長他

令和3年度事業計画

大 肢 協		大 肢 連	
4月	造幣局特別観覧会：中止(造幣局招待)	28日(水)	総会：中止
5月	障がい者と共に絵を描く会：中止(ライオンズクラブ招待)	19日(水)	府へ要望書提出
6月	3日(木) 理事会：アネックスパル法円坂	26日(土)	日帰りレクリエーション：舞洲バーベキューパーク：中止
	18日(金) 定時評議員会：アネックスパル法円坂		
6月	26日(土) 日帰りレクリエーション：舞洲バーベキューパーク：中止	29日(火)	近肢連リモート研修会「コロナ関連」講師：滋賀県肢連 植松代表
		3日(水)	第55回近畿福祉大会大阪大会：中止
7月		18日(土)	全肢連全国大会：東京都大田区産業プラザpio
9月	ひだまり秋祭り：中止	未 定	国への要望：東京
11月	未 定 理事会：アネックスパル法円坂	未 定	第56回チャリティバザー：未定
	未 定 評議員会：アネックスパル法円坂	27日(土)	各ブロック懇談会：各ブロック会場
12月	27日(土) 日帰りレクリエーション みかん狩り：岸和田市 新樹園	27日(土)	日帰りレクリエーション みかん狩り：岸和田市 新樹園
	4日(土) 交野自立センター創立記念祭：未定		各ブロック懇談会：各ブロック会場
12月	13日(日) 「友の会」クリスマス会：中止(共同募金助成)	3日(金) ~9日(木)	障害者週間 啓発活動：京橋駅前
	クリスマスチャリティ公演ミュージカル観劇：未定 (日産労連招待)	4日(土)	近畿ブロック地域指導者育成セミナー：神戸市勤労会館
1月			新成人のつとめ：各ブロック・各父母の会
2月		22日(火)	親・家族交流会：アートホテル大阪ベイタワー
	未 定 大相撲大阪場所観戦 府立体育館：未定 (日本相撲協会東西会招待)	未 定	施設見学：滋賀県 ぼのハウス
3月	5日(土) 日帰りレクリエーション いちご狩り：岸和田市 いちご畑はる	5日(土)	日帰りレクリエーション いちご狩り：岸和田市 いちご畑はる
	下旬 理事会：アネックスパル法円坂：未定		

○役員会(毎月第2火曜)・市区町村代表者会議(毎月第3火曜)は定例ですが、開催しない場合もあります。

○研修会1～2回程度開催予定

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から内容や日程等に変更の可能性がございますことをご了承ください。

グループホームにおける新型コロナウイルス感染症対策と生活の様子

大肢連 「グループホーム堺あけぼの」の場合

社会福祉法人 堺あけぼの福祉会 施設長 但馬 秀樹

昨年の1月中旬に日本で初めて新型コロナウイルス感染症の発症が確認されて以降、私たちの生活は一変しました。全ての暮らしの場面で、「新しい生活様式」に沿った感染症対策を続けながら生活しています。

例えば、「3密を避ける」では、

- ①リビングでソーシャルディスタンスを保っての食事。
- ②就寝まではリビングではなく、居室で寛ぐ。
- ③入浴は感染状況などに応じてシャワー浴とする。

「不要不急の外出を控える」では、

- ①緊急事態宣言中は日中事業所の利用を控える。
- ②ガイドヘルパーとの外出を控える。
- ③週末の帰省を控える。
- ④家族などの面会も控える。

特に、緊急事態宣言中の「外出制限」により、身体機能の低下や気持ちの揺らぎなど心身に影響が出ました。

そんな中、今年の4月末に生活支援員1名とグループホーム入居者1名が罹患しました。すぐに保健所に連絡し入居者とスタッフ全員がPCR検査を受けました。

罹患された方は、状態もよいとは言えない方でしたが、入院の必要はない、障害もありホテル療養もできないと行政の判断が下りました。グループホームでは部屋の配置上、完全な隔離は無理なので結局、当法人のショートステイを療養場所とするしかなく、そちらに移っていただきました。



この間の支援は、グループホームの管理者と入居者が利用している生活介護の生活支援員が交代で、24時間体制であたってくれました。

また、症状が急変したときのため、居宅介護事業所の管理者が毎日宿直しました。

コロナに罹患し重度化すると命にかかわる可能性があるにもかかわらず、利用者の命を第一に考え支援にあたってくれたスタッフへの感謝の気持ちは言い尽くせません。

まさに「重度重複障害者の生活を支える」という法人理念と堺市肢体不自由児(者)父母の会が母体となって設立された社会福祉法人のスタッフです。

今回は、幸いにも支援体制を整えることができ、感染拡大もありませんでした。障害をお持ちの方も家族も支援者も誰もが安心して暮らしていけるよう今後も尚一層邁進してまいります。

大肢協 「大肢協コミュニティホームズ・中央」の場合

大肢協コミュニティホームズ・中央では、新型コロナウイルスの感染対策として以下の事を行っています。

- ①手洗いや手指の消毒の徹底
 - ②外出時のマスクの装着
 - ③テーブルにアクリルパーテーションの設置
 - ④外出はなるべく近くで済ませ、公園等の屋外で過ごす
 - ⑤カラオケボックスなど感染の危険のある施設は利用しない 等々
- 当初はこの生活も数ヶ月で終わるだろうと考えていましたが、気付けば1年半以上も我慢の生活が続き、日中にマスクを着けていることや週末にホームの近くにしか出かけられないことが当たり前となってしまい、利用者や支援者のストレスは相当なものだろうと思います。

幸いにも利用者・職員共に新型コロナウイルスの感染者は出ておりませんが、急な発熱や体調不良などで「もしかして?」と不安になる事が何度もありました。

緊急事態宣言が何度も出て、慣れや油断がどうしても出てきてしまうと思いますが、このまま感染者が出ないよう今一度気を引き締めて感染症対策を続けていきたいと思っています。

早く感染が収束し、以前の生活に戻って皆がのびのびと暮らすことが出来るようになることを祈ります。

大肢連 今年度も府へ要望書提出しました。

大肢連北摂ブロック長 竹内 久美子

今年度は、例年より半年早く5月19日に大阪府へ要望書を提出しました。検討を重ね、下記の通り福祉・教育関係に加え、コロナ関係についても要望しています。今年も引き続き、感染防止のため応接は望めず文書回答となります。

今までの日常がいつ戻ってくるのかわからない状況が続く中、少しでも不安が解消されるような回答となるよう願っています。

【福祉関係】(6項目中3項目抜粋)

- ①重度障害者(医ケア含む)のグループホームを整備してください。
親の高齢化、入所施設の建設もない等の理由で、重度障害者(医ケア含む)のグループホームは、今後ますます必要になってきます。誰でも住み慣れた地域で安心して暮らすことが当たり前になるよう、府が中心となりグループホームの整備を進めてください。親の高齢化で自宅での介護が限界にきています。一刻の猶予もありません。
- ②ショートステイを整備してください。
特に医療的ケアの必要な方のために、看護師配置を基準に整備が進むよう支援を行ってください。
- ③補装具費の支給について、2台目の車椅子やその修理代も内容に入れてください。貸し出される補装具では体に合わず使うことができません。また手続きの簡素化も図ってください。
私たちが日常使う車椅子は既存のものではなく個々の障害に対応したものです。毎日使うものであるため、壊れることも多く、

修理が必要となります。修理にもかなりの日数がかかり、たちまち生活に支障がでます。装具についても同様です。

【教育関係】

- ①医ケアの必要な児童の通学支援事業について、現在の府内各支援学校での対応や事業の進捗状況と課題を教えてください。またその課題に対して府としてどのような対処を考えておられるかも併せて教えてください。

【コロナ関係】

- ①障害児者やその保護者が新型コロナウイルスに感染した場合、市町村と地域の保健所が連携を取り、早急に対応してください。
- ②災害発生時においては、まず一次避難所に避難することになりますが、基礎疾患をかかえている障害児者にとっては濃厚接触となる不安がぬぐえません。新型コロナウイルス感染症を契機として、市町村へ避難所開設当初から障害者専用ブースの設置を周知徹底してください。

ありがとうございます!!

大肢協

大阪梅田ライオンズクラブ様よりご寄付いただきました。
いただいた寄付金は、障害者の社会参加促進や障害者施設の備品購入等のため、大切に使用させていただきます。

大阪梅田ライオンズクラブでは、「地球兄弟プロジェクト チャリティコンサート」として、歌手の河口恭吾さん、地球兄弟プロジェクトの参加アーティストの皆さんによるライブコンサートの開催と一部無料招待、そのコンサートの収益金を大肢協へご寄付いただくなど、大肢協の活動にご支援いただいています。



また、同ライオンズクラブは、これまで肢体不自由児者の自助具の制作援助、肢体不自由児者の作品展を30年継続支援されるなど、1974年以来長年に渡って、障害者の自立と社会参加の推進にご支援いただいています。

大肢連

大肢連より感謝申し上げます。

真韻(まいん)株式会社 亀山 文一郎 様

コロナ禍の折、マスク着用が難しい障害児者の方々のために『マスクつけられませんか』を250個作っていただきました。希望のあった各市父母の会の会員に配布いたしました。

ありがとうございました。



大肢連

全肢連 × 心魂プロジェクト 『オンラインコンサート』

おうち時間を少しでも楽しんでもらえるよう、デリバリーパフォーマンスを行う心魂プロジェクトにご協力いただき、オンライン配信ミュージカルコンサートを実施することとなりました。

と き 8月7日(土) 19:30 ~ 21:00

演 目 ディズニーミュージカル他

視聴方法 YouTube

当日は下記URLがQRコードから視聴ください。

<https://youtu.be/LeCgHrw9UqU>



♡ 心魂プロジェクト ♡

「ワクワク、ドキドキ、感動全ての人に等しく与えられた権利である」という理念の元に劇団四季出身俳優や元宝塚劇団女優を中心としたデリバリーパフォーマンスを展開している。

公式ホームページ <https://www.cocorodama.com/>



株式会社岡田本社
大阪梅田ライオンズクラブ
大阪信用組合協会
ホテル大阪ガーデンパレス
フロント
ホテル大阪ガーデンパレス
レストラン「シーズン」

令和三年四月一日、
六月三十日現在
寄付金 三二五、五九七円

【大肢協にご協力深謝】
(順不同、敬称略)



父母の会だより

箕面市肢体不自由児者父母の会

副会長 宇田 多恵子

箕面市父母の会の会員は35名です。4月22日に会員だけの総会を開き、今年度をスタートしました。昨年はコロナ禍で思うように活動ができませんでしたが、時期や内容を変更したり、縮小したりしながらもポッチャ大会、バスツアー、ボランティアとの余暇活動を行なうことができました。今年もまだコロナの影響がありますが、早く皆で集いたい!思いつき話したり笑ったりしたい!と楽しい活動を計画していきたいと思っています。

大肢連のイベントには昨年は、日帰りレクリエーションや親・家族交流会に参加。同志社大学社会学部教授の立木茂雄氏の防災の研修会では貴重な勉強をさせていただきました。

今年もイベント、研修会などの開催よろしくをお願いします。

大肢連

第54回 全肢連全国大会のご案内

大会テーマ

「住み慣れた地域で共生社会の実現！」
～東京オリンピック・パラリンピックは私たちの暮らしに何を遺したか～「新しい生活様式を踏まえて」

★趣 旨

1964年、第2回パラリンピックが東京で開催され50年以上経って開催されるこの度のオリンピック・パラリンピックについては、バリアフリー環境の整備や心のバリアフリー等の進展に、大いに期待するところです。

また、感染症に対してどのような対策、配慮がなされたのが検証するとともに、共生社会の実現に向けて今後父母の会が取り組むべき課題と方向性をともに学習する機会となるよう本大会を開催します。

会 場 東京都大田区産業プラザpio

日 時 9月18日(土) 午前9時30分～午後4時30分

11:00 記念講演Ⅰ 野田聖子氏

12:45 基調講演

オリンピック組織委員会 山口祥代氏、吉田茜氏

13:20 シンポジウム

テーマ「東京オリンピック・パラリンピックから私たちは何を引き継ぐか」

15:00 記念講演Ⅱ 感染症専門家

参加費 一人 3,000円

(来場、オンラインとも同額・資料、報告書含む)

※問合せ・申込みは大肢連事務局まで

TEL 06-6940-4181 FAX 06-6943-4661

大肢協

2021年度共同募金配分金交付決定のお知らせ

2020年度に実施された「NHK歳末たすけあい」による、当協会への配分金(651,000円)が決定されました。配分金は当協会の社会参加促進事業(クリスマス会)等に有効適正に活用いたします。